

我が家のスマホ（携帯電話）はドコモである。家族4人分の料金を合算して一つの口座から引き落としている。要は、子ども2人分の料金を親が出しているのである。

4人それぞれのデータ使用量と料金は容易にわかる。毎月、息子と娘が競い合うように1位争いをしている。第3位が妻で、私はいつも4位である。私が一番お金がかかっていないことになる。

一番お金がかかる息子が契約を「ahamo」にしたいと言い出した。ahamoの方が料金が安くなることは知っていた。息子はしきりにahamoにすることを勧めてくる。だが、必ずデメリットがあるはずである。息子の話によれば、ドコモの携帯メールアドレスが使えなくなるということだった。それから、ahamoはすべてwebで手続きをするため、ドコモショップでのサービスが受けられないとのことだった。

そういえば、ドコモのメールアドレスで登録してあるものが、けっこうあった。切り替えるのがやっかいである。息子がいうには、そんなの1日あれば終わるとのことだった。それはそうなのだが、面倒くさい。ドコモショップが使えないのも不安である。

名義変更が必要なため、一緒にドコモショップに行った。息子のスマホの名義を本人にするのである。手続きは、あっけなく終わった。ついでに、現在のデータ使用量で家族全員がahamoにした場合の料金を試算してもらった。月々〇千円も違う。「ん～」とうなってしまった。その場では結論を出せずに、とりあえずショップを後にした。

息子は、もうご機嫌である。早速webでahamoの契約を済ませた。一方、こちらはというと、葛藤である。悩む。安くなるのは魅力だが、不安がつきまとう。うまく登録メールアドレスを変更できるだろうか。ドコモショップなしでやっていけるだろうか。

そこで考えた。娘が幸いにもこの前、二十歳になった。とりあえず、娘のスマホも名義変更をして、ahamoにすれば、さらに安くなる。娘が携帯メールアドレスを登録しているのは、そうはないはずである。

というわけで、めでたく息子も娘も我が家のドコモグループから巣立っていった。残された父と母は、今までのギガ何とかで頑張っていくことになる。ahamoとは、aha mobileの略だそうである。ahamoという名称には3つの意味が込められている。未知の物事を瞬時に理解することを意味するアハモーメント、なるほどという相づちの英語表現Aha、楽しいときにアハハと笑う感嘆詞としてのアハである。

この3つの意味からすると、自分にahamoが合っているとは思えない。やはりギガ何とかのほうがしっくりくる。もうしばらく、このままにしておこう。どうも若い人の言われるままにするのがこわい。不安なのである。このあたりが、自分でも歳をとってきたと感じずにはいられないところである。

ahamoという名称も何となく不安を感じさせる。ギガは、もともとギリシア語で巨人という意味である。アハよりも巨人の方が安心である。何としても自分を納得させようとしている自分が哀れに思えてきた。それでも踏ん切りがつかない。これが歳を取ったということか。